

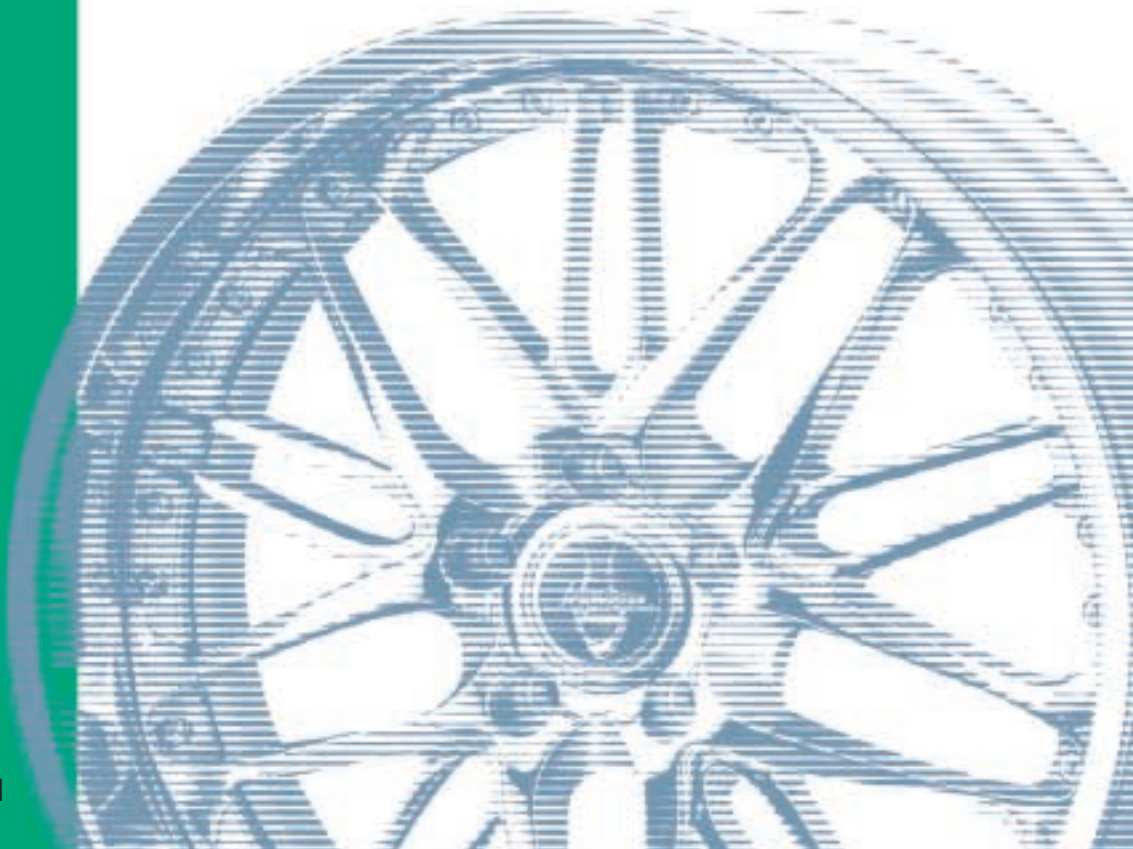
39th

第39期 中間事業報告書

平成15年4月1日から平成15年9月30日まで

weds

株式会社ウェッズ



証券コードNo.7551

車と社会の未来を グローバルに創造する



CONTENTS

株主の皆様へ	2
中間決算ハイライト	3
第39期中間期の営業概況	4
企業集団の状況	5
経営課題と新組織図	6
中間財務諸表	7
TOPICS	9
会社の概要・株式情報	10

●株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

第39期中間決算業績についてご報告申し上げます。

当中間期の我国経済は、大手製造業の収益改善や銀行の不良債権処理等により日経平均株価が1万円台を回復しましたが、リストラやデフレに伴う個人消費の低迷と円高の進行等により、景気は引き続き厳しい状況で推移しました。

当中間期の自動車業界は、国内新車販売台数が乗用車を中心に若干増加しましたが、アフターマーケットにおいては、需要が依然として低迷しており、深刻な不況の結果、同業他社の倒産が相継ぎました。

かかる環境下、当社は全力を挙げて業績の確保に努めましたので、売上高と経常利益は計画を多少下回りましたが、中間純利益は計画を上回りました。

これらの結果、当中間期の売上高は、前年同期比237百万円(2.7%)増の8,918百万円、経常利益は同8百万円(12.4%)増の75百万円、中間純利益は同15百万円(33.5%)減の30百万円になりました。

なお本年10月1日付にて、流通事業本部(自動車関連小売業・携帯電話販売業・産業機械販売業)を分社化、新設した子会社、株式会社バーデンに営業を承継しました。今後、来たる創業40周年を新たな飛躍へのステップと位置付け、当社は自動車関連卸売業において、株式会社バーデンは小売中心の地域複合事業において特色を生かし、経営責任を高めて連結経営力を強化していきます。

株主の皆様には、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

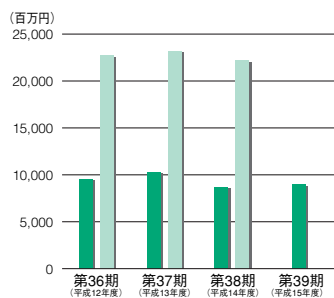
平成15年12月

代表取締役社長 川口 修

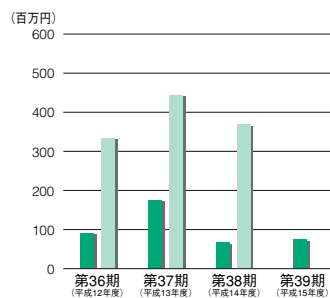
● 中間決算ハイライト

■ 中間 ■ 通期

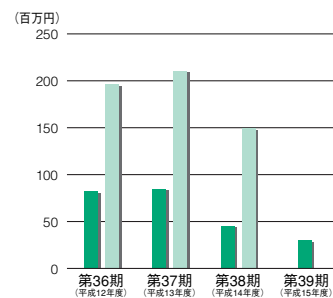
売上高



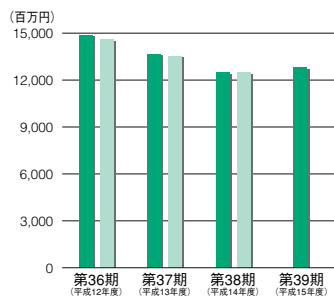
経常利益



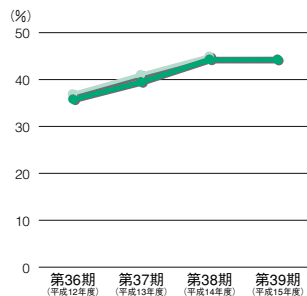
中間(当期)純利益



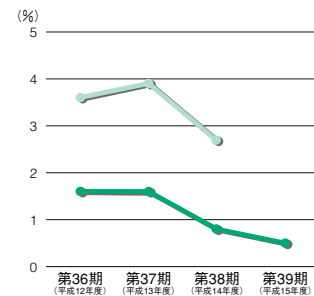
総資産



株主資本比率



株主資本利益率



項 目		第36期(平成12年度)		第37期(平成13年度)		第38期(平成14年度)		第39期(平成15年度)
		上半期	通期	上半期	通期	上半期	通期	上半期
売上高	(百万円)	9,564	22,713	10,267	23,151	8,681	22,136	8,918
営業利益	(百万円)	△39	179	103	325	△11	350	28
経常利益	(百万円)	92	334	175	444	67	369	75
中間(当期)純利益	(百万円)	82	196	85	210	45	149	30
総資産	(百万円)	14,855	14,575	13,632	13,500	12,489	12,490	12,775
株主資本	(百万円)	5,302	5,381	5,390	5,532	5,528	5,610	5,653
株主資本比率	(%)	35.7	36.9	39.5	41.0	44.3	44.9	44.3
株主資本利益率	(%)	1.6	3.6	1.6	3.9	0.8	2.7	0.5

●第39期中間期の営業概況

当中間期の概況

当中間期の我国経済は、大手製造業の収益改善や銀行の不良債権処理等により日経平均株価が1万円台を回復しましたが、リストラやデフレに伴う個人消費の低迷と円高の進行等により、景気は引き続き厳しい状況で推移しました。

当中間期の自動車業界は、国内新車販売台数が乗用車を中心に若干増加しましたが、アフターマーケットにおいては、需要が依然として低迷しており、深刻な不況の結果、同業他社の倒産が相継ぎました。

かかる環境下、当社は全力を挙げて業績の確保に努めましたので、売上高と経常利益は計画を多少下回りましたが、中間純利益は計画を上回りました。

これらの結果、当中間期の売上高は、前年同期比237百万円(2.7%)増の8,918百万円、経常利益は同8百万円(12.4%)増の75百万円、中間純利益は同15百万円(33.5%)減の30百万円になりました。当中間期の設備投資は87百万円であり当該資金は自己資金により充当しております。

通期の見通し

日本経済は、企業収益の改善や株価の持ち直し等の結果、緩やかな底離れ基調にあると報道されていますが、個人消費の低迷や円高の進行等景気回復への懸念材料も多く、自動車用品のアフターマーケットは引き続き需要が低調に推移しないか心配されます。

こうした環境下、当社は来たる創業40周年を新たな飛躍へのステップと位置付けて経営改革にチャレンジする所存であり、高中級アルミホイールを中心とした商品開発の強化、営業総合力強化による重点商品拡販、商品管理徹底による在庫効率改善、会社の活性化等経営諸施策を鋭意推進してまいります。

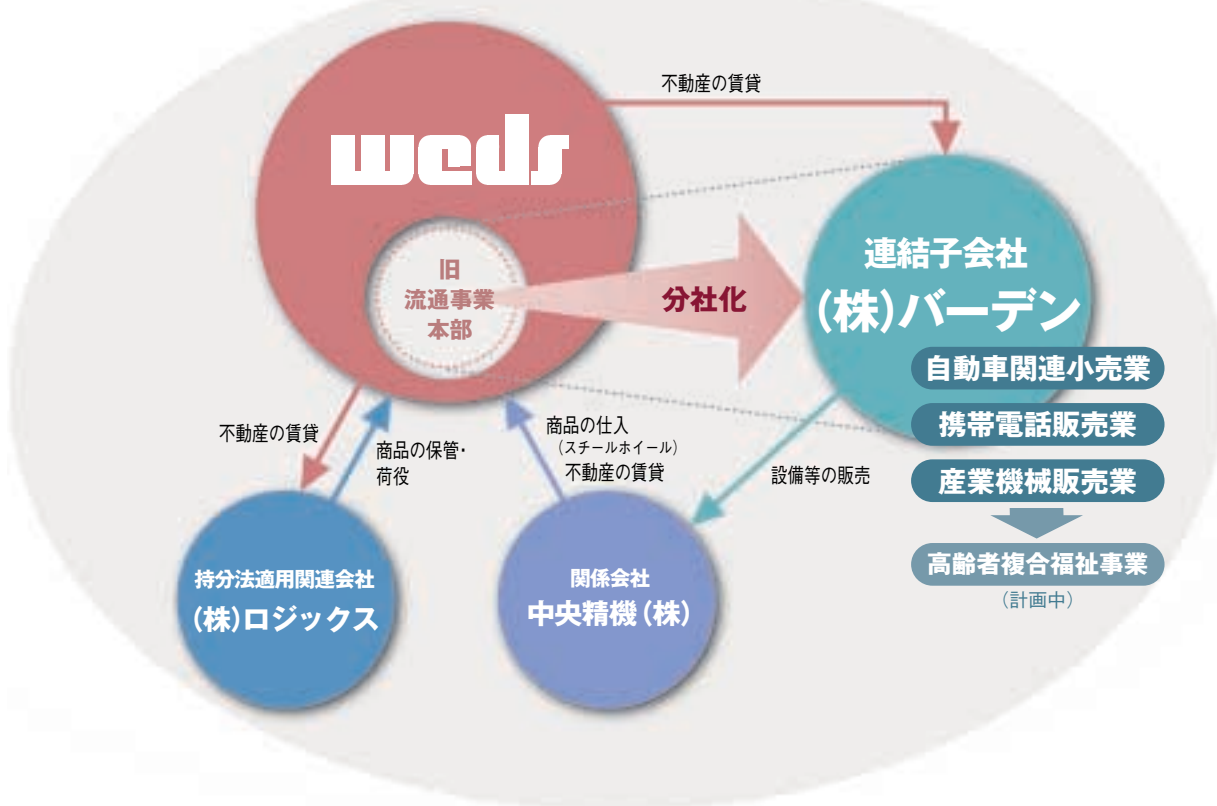
なお、当社は本年10月1日付で愛知県安城市他において自動車関連小売業等を展開しておりました流通事業本部を株式会社バーデンとして会社分割しました。

これらを踏まえた通期の業績見通しは、売上高20,500百万円(前年比7.4%減)、経常利益300百万円(前年比18.7%減)、当期純利益135百万円(前年比9.4%増)を見込んでおります。

流通事業本部を (株)バーデンとして分社化 (本年10月1日付)

今後ウェッズは自動車関連卸売業において、
バーデンは小売中心の地域複合事業において特色を生かし、
経営責任を高めて連結経営力を強化。

流通事業本部分社化後のグループ事業概要



市場成熟化や環境悪化等から収益の伸び悩み

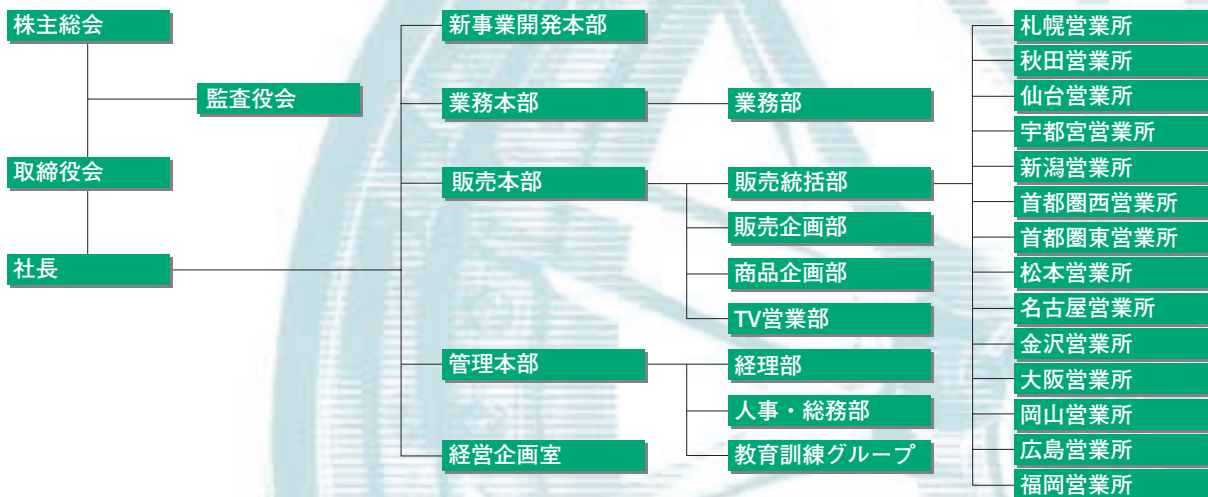
再び利益成長を図れるよう経営体質を再構築

【目標達成のための重要課題】

- 商品開発の強化
- 営業力の強化
- 商品管理の徹底
- ローコストの推進
- 会社活性化の促進

(株)ウェッズ新経営組織図

平成15年10月1日現在



● 中間財務諸表

39th

中間貸借対照表 (要約) (単位：百万円)

科目	第39期中間 平成15年9月30日現在	第38期中間 平成14年9月30日現在	第38期 平成14年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	9,323	9,095	9,148
現金・預金	909	772	748
受取手形	745	1,186	2,503
売掛金	2,256	2,423	2,853
商品	4,279	4,097	2,444
繰延税金資産	218	81	187
その他	964	544	454
貸倒引当金	△50	△11	△43
固定資産	3,451	3,393	3,342
有形固定資産	2,051	2,157	2,060
建物・構築物	799	871	832
土地	1,019	1,019	1,019
その他	232	266	208
無形固定資産	35	8	38
投資その他の資産	1,364	1,227	1,243
繰延税金資産	—	36	51
その他	1,396	1,222	1,223
貸倒引当金	△31	△31	△31
資産合計	12,775	12,489	12,490

科目	第39期中間 平成15年9月30日現在	第38期中間 平成14年9月30日現在	第38期 平成14年3月31日現在
(負債の部)			
流動負債	5,276	5,849	5,256
支払手形	—	456	—
買掛金	1,646	1,758	1,316
短期借入金	2,650	3,000	3,000
その他	979	634	940
固定負債	1,844	1,111	1,622
長期借入金	1,425	700	1,200
退職給付引当金	266	272	286
役員退職慰労引当金	131	122	118
繰延税金負債	7	—	—
その他	15	16	17
負債合計	7,121	6,960	6,879
(資本の部)			
資本金	852	852	852
資本剰余金	802	802	802
利益剰余金	3,943	3,876	3,963
利益準備金	213	213	213
任意積立金	3,616	3,516	3,516
中間(当期)未処分利益	113	147	233
その他有価証券評価差額金	55	△3	△7
自己株式	△0	—	△0
資本合計	5,653	5,528	5,610
負債・資本合計	12,775	12,489	12,490

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

中間損益計算書（要約）（単位：百万円）

科目	第39期中間	第38期中間	第38期
	平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
売上高	8,918	8,681	22,136
売上原価	7,202	6,926	17,797
売上総利益	1,716	1,754	4,339
販売費及び一般管理費	1,688	1,766	3,988
営業利益	28	△11	350
営業外収益	73	112	127
営業外費用	26	33	109
経常利益	75	67	369
特別利益	—	83	83
特別損失	—	40	137
税引前中間(当期)純利益	75	110	315
法人税、住民税及び事業税	61	10	230
法人税等調整額	△16	54	△63
中間(当期)純利益	30	45	149
前期繰越利益	82	101	101
中間配当額	—	—	16
中間(当期)未処分利益	113	147	233

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

中間キャッシュ・フロー計算書（要約）（単位：百万円）

科目	第39期中間	第38期中間	第38期
	平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	426	805	438
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△111	2	△138
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△152	△816	△333
IV 現金及び現金同等物の増減額	161	△8	△33
V 現金及び現金同等物の期首残高	748	781	781
VI 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	909	772	748

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

2003年全日本GT選手権第5戦 富士スピードウェイ優勝!!

第3戦スポーツランドSUGOより新型車両のNEWセリカGTを投入!!これにより戦闘力を増したWeds Sport Racing Team with BANDOは、第5戦FUJIスピードウェイ

で予選1位、決勝1位と最高の走りを見せてポールトゥーウィンで表彰台を獲得!!今後の活躍にもご期待下さい!!



様々なレースカテゴリーで活躍するウェッズスポーツ。オリジナルアルミホイールを始め、レースで培われた技術とノウハウで今後様々なGTパーツを市場に販売予定です。



来春「東京オートサロン2004 with NAPAC」 「大阪オートメッセ2004」の展示会に出展!!

毎年千葉の幕張で行われている「東京オートサロン」と、2月に開催されます関西地区で一番の入場者数を誇る「大阪オートメッセ」に、来年度も出展を予定しています。

新製品の発表は元より、毎年春に開催いたします「ウェッズスプリングキャンペーン2004」の告知スペースをブース内に設け、直接的なお客様である来場者や取引先に強くアピールし、販売促進に繋げていきます。

今後も大小様々なイベントにも積極的に参加し、当社オリジナルブランド強化と、一般ユーザーに支持される商品作りに役立てます。



会社概要

商号 株式会社ウェッズ
WEDS CO.,LTD.
本社所在地 東京都目黒区目黒本町1-12-12
設立 昭和40年10月12日
資本金 8億5,275万円
従業員数 179名
業務内容 自動車用アルミホイール・スチール
ホイールを中心とした自動車部品・
用品の販売

役員

取締役会長 上坂良夫
取締役社長
(代表取締役) 川口修
常務取締役 谷越時義
取締役相談役 永井秀哉
取締役 加藤寛夫
取締役 大村正夫
取締役 畑井勇喜雄
取締役 山口義弘
取締役 伊澤秀
常勤監査役 井上正明
常勤監査役 川崎史博
監査役 清水延能

※取締役加藤寛夫氏は、商法第188条第2項第7号ノ2に定める資格要件を満たす社外取締役であります。

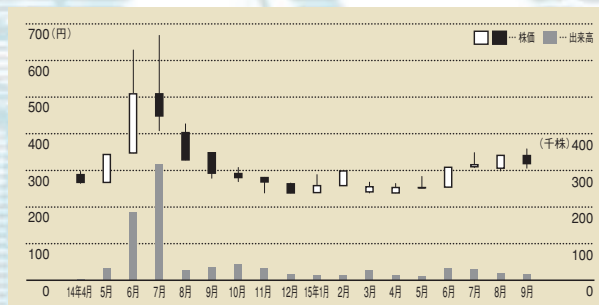
※監査役井上正明氏及び清水延能氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

株式情報

■ 会社が発行する株式総数 ……………17,780,000株
■ 発行済株式総数 ……………4,445,000株
■ 株主数 ……………589名
■ 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
中央精機株式会社	1,621,800	36.52
石原勝成	320,159	7.21
株式会社UFJ銀行	222,000	5.00
ウェッズ従業員持株会	137,010	3.08
根津昭	131,000	2.95
碧海信用金庫	127,000	2.86
民享工業股份有限公司	109,700	2.47
株式会社三井住友銀行	91,000	2.05
六和機械股份有限公司	64,000	1.44
星野肇	60,500	1.36

■ 株価推移



株主メモ

- 決 算 期 3月31日
- 配当金受領株主 3月31日
確 定 日 なお、中間配当を実施する場合の株主確定日は、
9月30日といたします。
- 定 時 株 主 総 会 毎年6月
- 株主確定基準日 3月31日
そのほか必要があるときには、あらかじめ公告いたします。
- 1単元の株式数 100株
- 公 告 掲 載 新 聞 日本経済新聞
貸借対照表および損益計算書掲載のホームページアドレス
<http://www.weds.co.jp>
- 株 式 名 義 書 換
名義書換代理人 東京都港区芝三丁目33番1号 〒105-8574
中央三井信託銀行株式会社
- 同 事 務 取 扱 所 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063
(お問合せ先) 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) (証券代行事務センター)
電話03 (3323) 7111 (大代表)
- 同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店・全国各支店

weds CO.,LTD.

株式会社ウェッズ

〒143-0016

東京都大田区大森北1-6-8 東伸24大森ビル6階

TEL 03-5753-8201

URL <http://www.weds.co.jp>

